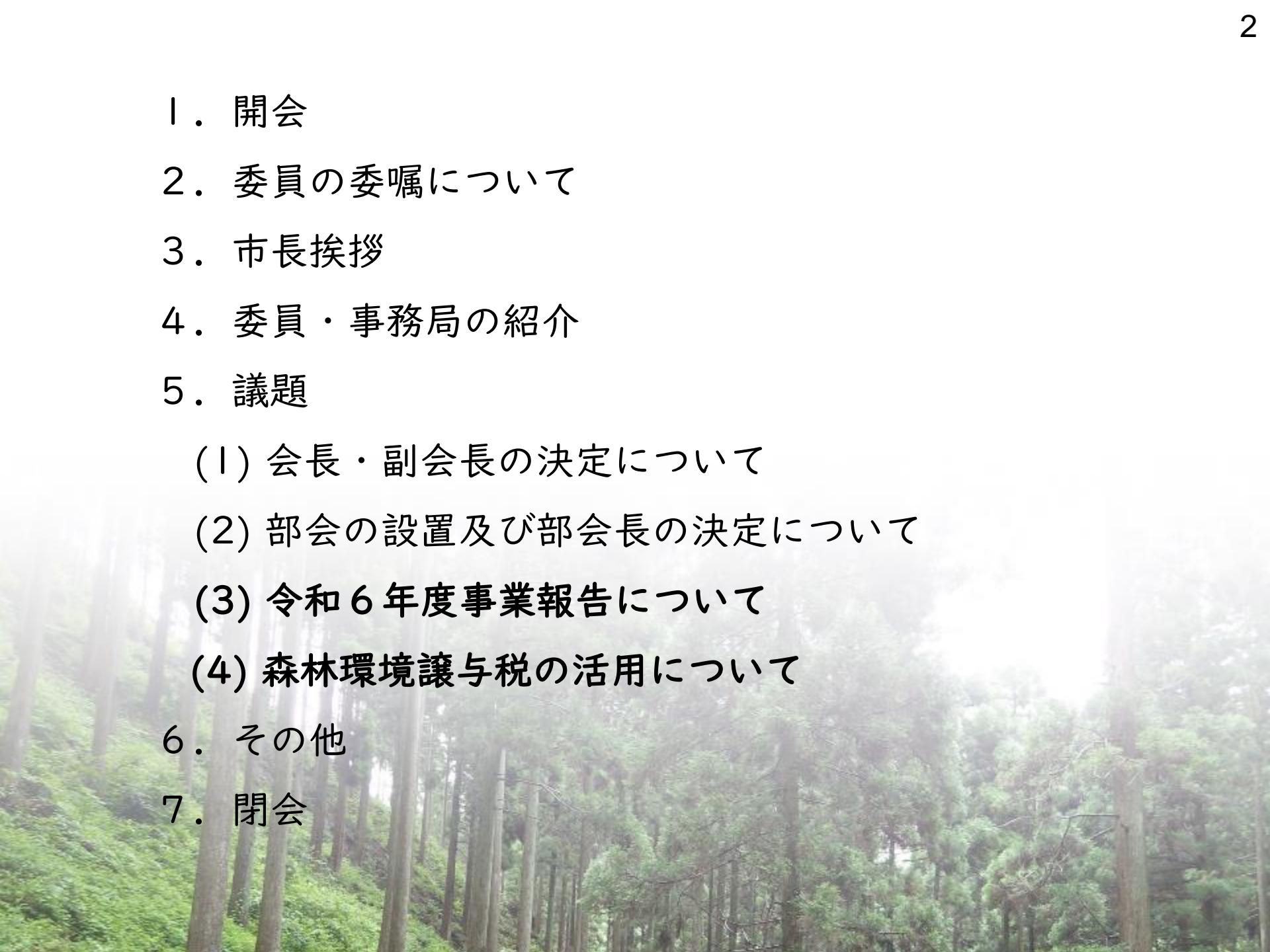


令和7年度

第一回山武市 森林づくり審議会



- 
1. 開会
 2. 委員の委嘱について
 3. 市長挨拶
 4. 委員・事務局の紹介
 5. 議題
 - (1) 会長・副会長の決定について
 - (2) 部会の設置及び部会長の決定について
 - (3) 令和6年度事業報告について
 - (4) 森林環境譲与税の活用について
 6. その他
 7. 閉会

5. 議題

(3)令和6年度事業報告について



①令和6年度に実施した主な行事

令和6年度に実施した主な行事は次のとおりです。

実施日	行事名	内容
4月23日～10月30日	ふるさと学習（市内小学生）	日向の森において、市内の小学3年生及び5年生を対象に森林環境学習を実施しました。 参加者：市内11小学校、554名 講師：（公財）Save Earth Foundation
4月27日、28日	第26回浦安市民まつり出展	浦安市民まつりに出展し、サンブスギの箸づくり体験イベントの開催や木工品の販売等、市内産木材のPR活動を行いました。
5月18日	第7回みどりとふれ合う植樹会	日向の森で開催された公益財団法人Save Earth Foundation主催の植樹会に参加し、市内産木材のPR活動を行います。 当日はコナラ等5種類の広葉樹（175本）の植樹が行われました。
5月23日～10月23日	ふるさと学習（市内中学生）	日向の森において、市内の中学1年生を対象に森林環境学習を実施しました。 参加者：市内4中学校、285名
5月25日	第1回環境ひろばin三番瀬出展	浦安市主催の環境展に出展し、サンブスギ製積み木大会の開催や木工品の販売等、市内産木材のPR活動を行いました。
10月30日	令和6年度第1回森林づくり審議会	令和6年度第1回森林づくり審議会の会議を市役所第4会議室にて開催しました。
10月30日	令和6年度第1回森林整備部会及び木材利用推進部会合同会議	令和6年度第1回森林整備部会及び木材利用推進部会の合同会議を市役所第4会議室にて開催しました。
11月23日	産業まつり出展	山武市産業まつりに出展し、バイオマス体験棟において、サンブスギ製積み木大会を開催するとともに、市内産木材のPR活動を行います。
11月24日	浦安市森林環境学習	日向の森において、浦安市と山武市の合同による森林環境学習を実施しました。 参加者：浦安市民36名、山武市民7名 講師：NPO法人CHARCOHL&AXE
12月21日	森林整備講習会	林業の担い手を育成するため、日向の森において林業講習会を開催しました。 参加者：13名 講師：NPO法人CHARCOHL&AXE
2月16日	森林に関する相談会	市内森林所有者等を対象に森林に関する相談会を開催しました。 相談件数：6件
3月17日	令和6年度第2回森林づくり審議会、森林整備部会及び木材利用推進部会合同会議	令和7年度第2回森林づくり審議会、森林整備部会及び木材利用推進部会の合同会議を市役所第6会議室にて開催しました。

写真

（ふるさと学習【小学生】）

写真

（ふるさと学習【小学生】）

浦安市民まつり

写真

（浦安市民まつり）

写真

（浦安市民まつり）

写真

(みどりとふれ合う植樹会)

写真

(みどりとふれ合う植樹会)

ふるさと学習（中学生）

写真

(ふるさと学習【中学生】)

写真

(ふるさと学習【中学生】)

写真

(環境ひろばin三番瀬)

写真

(環境ひろばin三番瀬)

山武市産業まつり

写真

(山武市産業まつり)

写真

(山武市産業まつり)

写真
(浦安市森林環境學習)

写真
(浦安市森林環境學習)

森林整備講習会

写真
(森林整備講習会)

写真
(森林整備講習会)

②森林づくりマスターplanに基づく取組状況について

I. 目標値に向けた進捗状況（目標値に向けた成果は次のとおりです。目標値は第3次総合計画の目標値とリンクさせています。）

SFGs	成果指標	進捗状況	指標単位	実績		目標値 (R8)
				R5	R6	
全て	森林整備年間実施面積 (※1)	令和6年度の森林整備面積は、目標値38haに対し、実績値は19.20haでした。 また、累計森林整備面積は、令和8年度末での目標値152haに対し、令和5年度から令和6年度までの実績値は32.18haでした。	ha(年間)	12.98	19.20	38
			ha(累計)	12.98	32.18	152.00
全て	森林整備事業年間実施箇所数	令和6年度の森林整備事業年間実施箇所数は、目標値30箇所に対し、実績値は32箇所でした。	箇所(年間)	39	32	30
全て	市補助制度を活用し、搬出された木材量(※2)	令和6年度の市補助金を活用し搬出された木材量は、目標値9,772m³に対し、実績値は4,917m³でした。	m³(年間)	4,184	4,917	9,772

2. 令和6年度の取組状況

SFGs	事務事業名	取組内容	成果指標名	R5	R6	備考
木材資源	木質バイオマス燃料利活用補助事業	木質バイオマス資源のエネルギー利用促進のため、「バイオマスバー」「ペレットストーブ」及び薪ストーブの購入者に対し購入設置費用の2分の1を補助する事業です。令和6年度はペレットストーブ2件の購入について補助金を交付しました。	補助件数	0	2	
教育	木育推進事業	森林環境譲与税を活用し、木育を推進するための各種の取組を行いました。 ・1歳6か月検診時にサンプスギ積み木を配布しました。令和6年度の配布数は156セットでした。 ・木育インストラクターの資格取得のため、こども園及び幼稚園の職員9名が講座を受講しました。 ・市内の小学3年生、5年生及び中学1年生を対象に日向の森において森林環境教育を実施しました。参加者数は小学生が554名、中学生が285名でした。	アンケートによる木育認識度(%)	57	60	
			木育事業参加者数(件)	612	1,004	
木材資源	市内産木材利用促進事業	市内産木材を使用して建築物の新築又は増築した方に対し使用量1m³当たり1万円(内装材の場合は1m³当たり5千円)で上限50万円の補助を行う事業です。令和6年度は新築1件に対し補助金を交付しました。	補助件数	2	1	
文化			構造材等の使用量(m³)	0	27	
災害抑制			内装材の使用量(m³)	149	77	
木材資源	県単森林整備事業	千葉県の単独森林整備事業補助金(市上乗せあり)を活用し、造林・保育・間伐材搬出等の森林整備を行う森林所有者等に対して事業費の一部を補助する事業です。(補助件数:3件、補助金額:127万円)	整備面積(ha)	2.21	1.50	
災害抑制	サンプスギ林総合対策事業	千葉県のサンプスギ林総合対策事業補助金(市上乗せあり)を活用し、スギ非赤枯性溝腐病の被害を受けた森林の整備を行う事業者等に対し事業費の一部を補助する事業です。(補助件数:5件、補助金額:3,070万円)	搬出量(m³)	580	300	
木材資源			整備面積(ha)	3.58	3.52	
災害抑制			搬出量(m³)	1,920	2,460	
災害抑制	森林環境整備推進事業	森林環境譲与税を活用し市の実情に即した森林整備を推進しました。 ・自伐型林業推進モデル事業補助金として、自伐型林業者が安全かつ効率的な森林整備を行えるよう、チェーンソー等の機械器具やグラップル等の高性能林業機械を購入する費用の一部を補助しました。(補助件数:7件、補助金額:131万円) ・市単森林整備事業補助金として、国や県の補助金の対象とならない概ね0.1ha未満の小規模な森林整備を対象として、林業経営者に対し事業費の一部を補助しました。(補助件数:8件、補助金額:355万円)	整備面積(ha)	2.28	7.30	
木材資源			搬出量(m³)	273	515	
災害抑制			整備面積(ha)	0.13	1.06	
水源	災害に強い森づくり事業	千葉県の災害に強い森づくり事業補助金(市上乗せあり)を活用し、風倒木や土砂流出等による重要インフラ施設への被害を未然に防止するために行う森林整備事業を実施する事業者等に対し、事業費の一部を補助する事業です。(補助件数:1件、補助金額:1,089万円)	搬出量(m³)	110	440	
文化			整備面積(ha)	4.78	5.82	
木材資源			搬出量(m³)	170	228	
木材資源	木材流通システム助成事業	林内から搬出された木材を集積する流通システム事業を行うNPO法人に対し、事業費の一部を補助する事業です。(1法人、162万円)	搬出量(m³)	1,131	974	

*1 森林整備年間実施面積の実績値は、県単森林整備事業、サンプスギ林総合対策事業、森林環境整備推進事業、災害に強い森づくり事業及び自治体連携森林整備事業における整備面積の合計値です。

*2 搬出された木材量の実績値は、県単森林整備事業、サンプスギ林総合対策事業、森林環境整備推進事業、災害に強い森づくり事業、自治体連携森林整備事業及び木材流通システム助成事業における搬出量の合計値です。

③伐採造林届の提出状況及び森林に関する通報・相談の状況

I. 伐採造林届の提出状況

森林法第10条の8の規定により令和6年度に市へ提出された伐採及び伐採後の造林の届出書（伐採造林届）の状況は次のとおりです。

伐採後の用途	造林	太陽光発電設備	その他	合計
届出件数	31件	9件	8件	48件
伐採面積	9.5ha	1.3ha	1.2ha	12.0ha

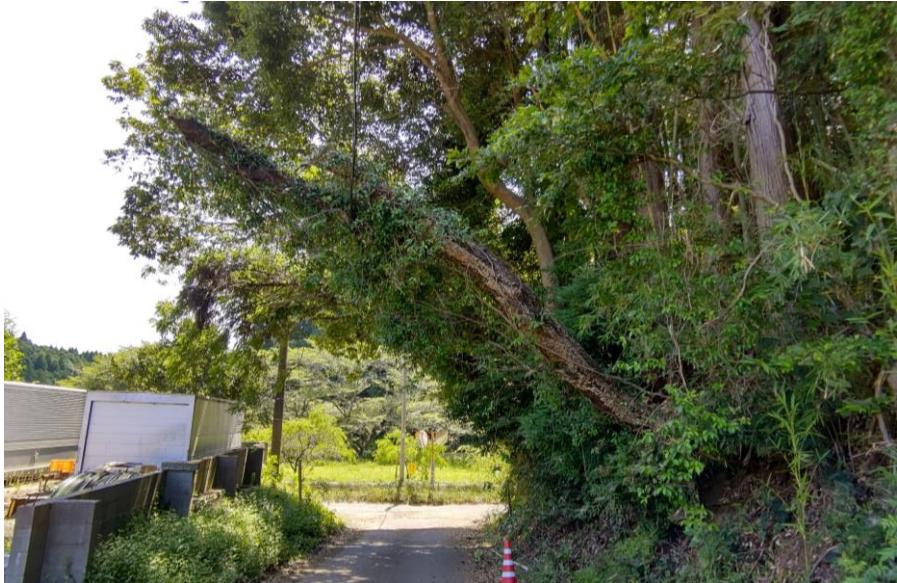
2. 森林に関する通報・相談の状況

令和6年度に市に寄せられた森林に関する通報・相談の状況は次のとおりです。通報・相談を受け、農政課では現地確認を行った上で、土地所有者等に対し文書により森林の適正管理について通知を行いました。

地区名	成東	山武	松尾	蓮沼	合計
相談件数	9件	16件	4件	1件	30件

通報・相談のあった森林の状況

道路側に樹木が伸び通信線に接触（中津田地先）【7月】



倒木し、通信線が垂れ下がる（森地先）



道路側に伸びた樹木【伐採後】（中津田地先）【10月】



住宅側に樹木が侵入し、屋根に覆い被さる（埴谷地先）



5. 議題

(4) 森林環境譲与税の活用について



①森林環境譲与税の活用状況

歳入

No.	項目	内容	R 6 決算(円)	実績内容	R 7 予算(円)	事業内容
1	森林環境譲与税	森林環境譲与税相当額	20,198,000	令和6年度譲与額	22,131,000	令和7年度譲与見込額
2	預金利子	普通預金利子	13,783	年2回	15,000	年2回
		合計(森林環境譲与税基金)	20,211,783		22,146,000	

歳出

No.	事業名等	内容	R 6 決算(円)	実績内容	R 7 予算(円)	事業内容
1	市内産木材利用促進事業	市内産木材を建築用材として活用をした方への補助事業 R 5 から新築の住宅以外にも拡大し、補助金の上限を50万円	500,000	新築1件	1,500,000	新築3件
2	森林環境教育プログラム	小中学生の総合学習として木育を取り入れ、学年別の体験型学習を日向の森で実施	2,333,269	・森林環境学習委託料 ・市バス運行委託料	2,478,000	・森林環境学習委託料 ・市バス運行委託料
3	木育インストラクター養成講座	木育インストラクター養成講座への参加負担金、旅費	139,450	9名参加	158,000	10名分
4	こども園遊具購入	こども園に設置する木のトンネルを購入	396,000	市内こども園(5園)	0	—
5	森林整備講習会	林業を目指す人、興味のある人を対象とした現場での林業講習の開催	330,000	日向の森にて講習実施 13名参加	399,000	12月実施予定
6	地域林政アドバイザー業務委託	林政アドバイザーへの業務委託	4,414,300	森林づくり審議会及び専門部会運営支援 森林相談会の実施 等	5,000,000	森林づくり審議会及び専門部会運営支援 森林相談会の実施 等
7	作業道等整備工事	森林整備に伴い発生する搬出道の砂利敷ならし	297,000	1件	1,000,000	
8	サンブスギ看板設置工事	森林整備を実施した施業地などに看板設置	384,362	4箇所	500,000	5箇所
9	自伐型林業推進モデル支援事業補助金	自伐型林家への機械等購入補助	1,312,000	7件 竹の粉碎機、グラップル等	2,000,000	10件 チエ-ンリー、刈払機等
10	市単森林整備事業補助金	県の補助制度が活用できない時期や要件が満たない小規模な森林整備などに対する支援 R 6 から通年に拡大	3,559,045	8件(事業体、個人) 植栽、下刈り、切り株除去、運搬等	10,100,000	植栽、下刈り、切り株除去、運搬等
11	施設用備品購入	市役所庁舎内で使用するサンブスギ製パーテーションポールを購入	297,000	パーテーションポール6本購入	2,172,000	軽トラック サンブスギ製表示看板
12	森林環境整備推進事業(その他)	森林クラウドシステム使用料 森林経営管理協議会負担金 等	688,000	新規で、林業アプリケーション使用料及びサンブスギ製コースター・鉛筆購入	1,287,000	【新規】 境界杭、伐採旗購入
		合計(森林環境譲与税充当額)	14,650,426		26,594,000	

令和6年度末の森林環境譲与税基金残高(R7.3.31時点)

30,820,123円

令和6年度の森林環境譲与税を活用した取組み

木のトンネル



サンブスギ製看板



市内産木材利用促進事業



切り株処理機を使用した施業



②森林環境譲与税の新たな活用案について

自伐型林業者に対する支援の拡充

本市では、「山武市自伐型林業推進モデル事業補助金交付要綱」を制定し、自伐型林業者が安全かつ効率的な森林整備を進めるため、労働安全に資する装備若しくは機械又は高性能な林業機械を購入する費用の一部を補助していますが、自伐型林業者による持続可能な林業経営をさらに推進するため、森林環境譲与税を活用して、自伐型林業者への支援を追加します。

※自伐型林業者とは、本要綱では、山林所有の有無又は所有規模にかかわらず、森林の経営や管理を自らが行う自立自営的な林業を営む者で、かつ、施業を継続的に行っていることを証明できる者としています。

なお、国が定める「森林・林業基本計画」の中では、自伐型林業の主体は「自伐林家」と「自伐型林業事業者」とされており、森林組合や民間事業体、林業経営を行う製材工場等とともに、地域林業を相補的に支える主体であると記載されています。

自伐型林業者に対する支援（案）

支援の内容

自伐型林業者に対しては、既に実施している労働安全装備品、労働安全機械器具及び高性能林業機械の購入に係る経費の補助に加え、スマート林業器具等の導入に係る経費の補助を追加します。

また、バックホウや林内作業車等の重機・林業用機械を所有していない方に対し、重機等のリースやレンタルに係る経費を補助します。

補助対象事業	補助対象経費	補助金額
スマート林業器具等導入支援事業	レーザ調査等森林調査に用いられる無人航空機、GNSS受信機、解析用ソフトウェアその他先端技術等を用いて生産性・労働安全衛生の向上に資する林業に使用される器具、アプリケーションソフトウェア等の導入に係る経費	導入費用の1／2 (上限額300,000円)
林業機械リース等支援事業	バックホウ、林内作業車、トラックその他の林業で使用する重機等のリース又はレンタルに係る経費	リース料等の1／2 (年間の上限額300,000円)

補助金の交付申請

- ・1年間に複数回に分けてリース等をする場合には、1年分を纏めて申請することができるものとするとし、その場合には、交付申請書と併せて、森林整備の年間活動計画書を提出すること。
- ・仕様等が確認できるカタログ等の写しやリース料等の見積書を提出すること。

補助金の概算払

補助金の支払いは原則として完了後の一括支払いとする。ただし、1年間に複数回に分けてリース等をする場合には、補助金の申請者から申し出により、補助金額の1／2を限度として概算払により支払うことができる。

実績報告

補助対象者は、実績報告書に購入費用、リース料等の領収書の写しを添付すること。

その他

- ・林業機械リース等支援事業の補助対象期間は、各年度ごとに最大1年間として、原則として年度を跨ぐことはできないものとする。



FOR A SUSTAINABLE SOCIETY